

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：（12組：横塚、吉野、佐藤）（34組：横塚、神田、吉野）（56組：神田、吉野、佐藤）（78組：横塚、神田、吉野）

使用教科書：（大修館書店 新編 言語文化）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A「児のそら寝」宇治拾遺物語 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語の展開を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に音読し、古文特有のリズムに慣れる。	・歴史的仮名遣い ・本文の読解 ・言語文化（大修館書店） ・新訂総合国語便覧（第一学習社） ・一人1台端末	○		○	・歴史的仮名遣いを正確に読むことができる。 ・品詞や文節について理解し、重要古語の意味を把握している。 ・笑話としてのおもしろさを理解している。 ・古文に親しもうとしている。	○	○	○	7
	B『阿蘇の史、盗人にあひてのがること』今昔物語集 【知識及び技能】 ・動詞の正格活用について理解する。 ・振り仮名を参考にしながら、本文を正確に読む。 ・訳注を参考にしつつ内容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・段落ごとのまとまりを意識し、事件の展開を理解する。 ・本文中から史の人間像を読み取る。 ・当時の時代背景と着物がもつ価値について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「大内裏周辺図」などを参考に、大まかな移動経路を確認する。 ・史がどのようにして盗賊の奇襲をやり過ごしたのかを読み取る。	・動詞の活用（四段・上二段・下二段） ・人物像をとらえる。 ・本文の読解 ・言語文化（大修館書店） ・新訂総合国語便覧（第一学習社） ・一人1台端末		○	○	・適切に主語や目的語を補いながら内容を読み取ることができる。 ・史の人物像を文章の描写をもとに考えることができる。 ・古典説話に興味をもち、積極的に読むことができる。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	C「高名の木登り」「猫また」徒然草 【知識及び技能】 ・動詞の活用について復習する。 ・係り結びの法則について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・随筆というジャンルを踏まえ、文章に現れた作者のものの見方、感じ方、考え方を正しく解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作者のものの見方、感じ方、考え方に興味をもち、自分に引き付けて人間や社会のありようを考えている。	・動詞の活用（正格活用、変格活用） ・係り結びの法則 ・本文の読解 ・言語文化（大修館書店） ・新訂総合国語便覧（第一学習社） ・一人1台端末		○	○	・動詞の活用について理解できる。 ・係り結びの用法について理解できる。 ・具体的な出来事とそこから導き出された作者のものの見方、感じ方、考え方を正しく解釈することができる。 ・随筆を読み、人間や社会のありようについて自分に引き付けて考えをまとめることができる。	○	○	○	12
定期考査						○	○		1	
	D「芥川」「筒井筒」伊勢物語 【知識及び技能】	・動詞の活用（上一段・下一段・変格活用）				・古典を読むために必要な文語のきまりや表現について理解し、物語の世界をより深く味				

2 学 期	助動詞について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「白玉か」の歌意を読み取り、男の心情を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 前段と後段の差異を協同分析する。	・本文の読解 ・言語文化（大修館書店） ・新訂総合国語便覧（第一学習社） ・一人1台端末			わっている。 ・歌物語について理解し、話の展開や登場人物の心情を叙述にもとづいて正確に捉えている。 ・物語の背景にある文化的要素や表現技巧について理解し、関心を持とうとしている。				12
	定期考査								1
	C『羅生門』 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 読書の意義と効用について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わろうとする態度を養う。古典作品への興味関心をもつ。	・漢字の読み書き ・登場人物の心情をとらえる。 ・本文の読解 ・言語文化（大修館書店） ・新訂総合国語便覧（第一学習社） ・一人1台端末			・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。				12
	定期考査								1
3 学 期	G「蛇足」「借虎威」戦国策 【知識及び技能】 本文を音読し、訓読のリズムに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の展開を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語が身の回りで使われていることに興味をもち、日常で使う言葉を見つめなおそうとしている。	・本文の読解 ・返り点や置き字等漢文の基礎 ・言語文化（大修館書店） ・新訂総合国語便覧（第一学習社） ・一人1台端末			・故事成語の成り立ちと日本で用いられてきた文化的な背景について、身近な例を挙げながら考えを深められる。 ・本文全体を正確に理解し、込められた寓意について三塚らの考えを深めている。 ・故事が日本の言語文化に与えた影響について考えようとしている。				12
	H「春暁」漢詩 【知識及び技能】 本文を音読し、漢詩のリズムに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢詩を書き下し文にし、その現代語訳を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 漢詩の表現を味わうことができる。	・本文の読解 ・押韻や形式など漢詩の基礎 ・言語文化（大修館書店） ・新訂総合国語便覧（第一学習社） ・一人1台端末			・漢詩の成り立ちと日本愛されてきた文化的な背景について、考えを深められる。 ・漢詩が日本の言語文化に与えた影響について考えようとしている。				9
	定期考査								1
									合計
									75